
Ponte Romana da Portagem

について

ポントゥ・ダ・ポルタジェム (Ponte da Portagem) (ポルタジェム橋)

スペインのカスティーリャとアラゴンから追放されたユダヤ人の入国を管理し課税するために、セヴァー川に架かるポルタジェム橋は、ポルトガルのジョアン2世 (1455-1495) によって設立された料金所の1つであったという伝統があります。したがって、マルヴァンの近くにある小さな村の名前はポルタジェムになっています。それは地元の人々の集合的な精神における重要な架け橋です。ローマ街道に統合されているため、当時の基礎がまだ残っている可能性があります。

料金所の時代からの年代記によれば、約15,000人のユダヤ人がカスティールのアルカンターラから王国に入りました。塔は14世紀に建てられたと考えられており、橋の通路を制御し、王国に入る一人一人に料金を請求しました。現在、1492年に交差点を作った難民の記念碑が建物の中にあります。

これらの人々の多くは、カステロ・デウ・ビデ近くの仮設難民キャンプに集まりました。近くの村に定住した人もいましたが、この料金所の近くを離れる前に亡くなった人もいました。

橋の周辺には、その建設を悪魔との協定に関連付ける一連の伝説もあります。これは、イベリア半島の古代の橋、特にローマ起源の橋に比較的一般的な物語です。

問い合わせ先

Rua da Ponte Romana, 7330-328 Portagem
